

大会名 Competition	第36回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
No. M-104	Year Month Day Time 2023 年 5 月 3 日 15 : 45
場所 Place	能代市総合体育館

発行：能代市バスケットボール協会
http://ncup.snowland.net



チームA		チームB	
洛	南	開志国際	
	59 ●	80 ○	
0 1st 37 17 2nd 14 24 3rd 13 18 4th 16 0 T			

主審:Crew chief
田村 高光 秋田
副審:Umpire
笹井 彪我 青森
松本 彩織 岩手
テーブルオフィシャル:Table officials
能代松陽女子

No.	Pl-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F	No.	Pl-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F
4	×	鬼防 壬陽人	cap	5	1	1	0	0	4	×	澤田 竜馬	cap	5	1	1	0	0
5	×	井上 涼雅		8	2	1	0	2	5	×	中島 遙希		2	0	1	0	0
6	/	和田 天祐		6	0	3	0	3	6	/	フリッシュ ニコラス 聖		12	0	6	0	1
7		木村 隼		-	-	-	-	0	7	/	平良 奏龍		3	0	1	1	1
8		廣瀬 優斗		-	-	-	-	0	8	/	藤山 拓翔		4	0	1	2	0
9	/	石田 暖光		0	0	0	0	0	9	/	遠藤 地紘		2	0	1	0	2
10		辻 弥斗		-	-	-	-	0	10	/	北村 優太		2	0	0	2	4
11	×	松本 泰		5	1	1	0	3	11	/	北本 慶志		3	1	0	0	0
12	×	中島 悠登		18	2	5	2	2	12	×	千保 銀河		12	2	2	2	0
13	/	佐々木 凌汰		2	0	1	0	1	13	×	平良 宗龍		11	1	4	0	0
14	×	小林 祐		2	0	1	0	2	14	×	NNEBUFE KELVIN CHIEMELIE		7	1	2	0	0
15	/	田中 夢大		5	0	1	3	3	15	/	SANNI OLUWASEGUN FARUK		9	0	3	3	1
16	/	小杉 思		2	0	1	0	0	16	/	矢作 悠吏		0	0	0	0	0
17	/	神原 龍太郎		0	0	0	0	0	17	/	前田 ヘンリー 有聖		6	0	3	0	1
18	/	中西 慶		6	0	3	0	0	18	/	小泉 俊介		2	0	1	0	0
コーチ		吉田 裕司						0	コーチ		富樫 英樹						0
Aコーチ		河合 祥樹						0	Aコーチ		津野 祐樹						0
合計				59	6	18	5	16	合計				80	6	26	10	10

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3P* インドシュート 2P:2P* インドシュート FT:フリースロー F:ファウル

Score ranking [Team]

1	18	30.51%	中島 悠登
2	8	13.56%	井上 涼雅
3	6	10.17%	和田 天祐

1	12	15.00%	フリッシュ ニコラス 聖
2	12	15.00%	千保 銀河
3	11	13.75%	平良 宗龍

Score ranking [Game]

1	18	中島 悠登	洛	南	2	12	フリッシュ ニコラス 聖	開志国際	3	12	千保 銀河	開志国際
---	----	-------	---	---	---	----	--------------	------	---	----	-------	------

6度の全国優勝を誇る伝統校、洛南と2022年ウィンターカップ初優勝を果たした開志国際の一戦。
1Qの立ち上がり、開志国際#12 千保のジャンプシュートと3Pを皮切りに、多彩なオフェンスパターンを駆使し、37-0のランで一気に攻勢をかける。対する洛南は開志国際の固いディフェンスを前に攻めあぐね、1Q 0得点と苦しい立ち上がり。洛南 0-37 開志国際

2Q序盤、洛南#6 和田のジャンプシュートが決まり初得点をあげると、再び和田がオフェンスリバウンドからのセカンドチャンスで連続得点。徐々に落ち着きを取り戻したこの試合、両校共にリバウンドからの速攻で積極的に得点を狙う。2Qは洛南17得点、開志国際14得点で洛南が2Qの得点数を上回った。洛南 17- 51開志国際

3Q、前半の点差を縮めたい洛南は#4 鬼防の3Pが決まり20得点目を挙げると、続けて2本の3Pを落ち着いて沈め、徐々に得点差を詰めていく。開志国際も202cm #15 SANNIがリバウンド、ブロックショットで持ち味を発揮し、攻撃につなげ着実に得点。3Qは洛南が5本の3Pを沈めるなど24得点で追い上げを見せた。洛南 41- 64開志国際

4Q、後半勢いを増した洛南は速攻など、スピード感のあるバスケットで最大37点あった得点差を一時10点台まで縮める。開志国際もパスワークを駆使し、各選手が得点に絡んでいく。最終的に1Qの0-37が決め手となり、開志国際が59-80で勝利した。